

作成 令和4年6月30日
摂津市議会議員 松本暁彦

2 PFOA問題の対策推進と風評被害防止について

令和4年第2回定例会一般質問 ～本会議3日目 令和4年6月27日～ 議事録(抜粋)

質疑概要

PFOA 問題については、その対策推進と風評被害防止の両方の同時進行が求められる。地域住民に二重の被害が受けることがないようにしなければならない。

対策推進については国や大阪府の調査や健康に関する基準値の策定が特に重要である。また、風評被害防止については、地域住民からの強い要望もあり、その防止の取組み、福島県での事例も挙げて、その風評被害の定着化、固定化の防止が必要である。

それらについて市長答弁を求めるなど質疑を行った。

○松本議員

次にPFOA問題の対策推進と風評被害防止について、まずはPFOA対策推進について、議会としても南野議長が先月の全国市議会議長会参加と合わせ国へPFOA対策推進の要望を行っています。

現在の市の対応状況等の取組みについてお聞かせください。

(略※)

○南野議長

生活環境部長

○生活環境部長

「ペルフルオロオクタン酸(PFOA)の取組み状況」についてのご質問にお答えいたします。

PFOAの対応につきましては、国から示された対応の手引書では、水環境の継続監視を行い、PFOA等の暫定的な目標値を上回っている飲用井戸所有者につきましては、水道水の利用を促すよう助言等を行うように記載されております。このうち、本市の役割はPFOA等の暫定的な目標値を上回っている飲用井戸所有者に水道水の利用を流すよう助言等を行うこととなりますが、水環境の継続監視を担う大阪府とも連携して、対応に当たっているところでございます。

具体的には、大阪府が主宰する神崎川水域PFOA対策連絡会議において、地域の声を大阪府に届けるとともに、大阪府の調査の支援、府活動時の地元との調整等を実施しております。

また、現在、PFOAは水環境全体の暫定的な目標値しか基準がございませんので、国に、大阪府

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

等を通じ、早期に人の健康への影響について、科学的な知見の集積に努めるとともに、調査研究及びガイドラインの作成等を要望しております。

その他の取り組みとしましては、PFOAに関する情報発信の一環として、市のホームページを立ち上げております。今後、新たに国、大阪府等から得られた情報を適時更新し、情報発信に努めて参ります。

(略※)

○松本議員

次にPFOA問題についてですが、対策はできることに関しては進めているものと理解しました。スピード感を持つよう国・府へ働き掛けを継続するよう要望致します。

そしてこの問題解決には国が早期に健康に関わる基準などを示すことも必要ですが、見通しは不明です。

そして分からないが故に、不安が煽られれば瞬間に風評被害は拡がります。井戸水等のPFOA汚染だけでなく風評被害という2重の不安・被害を地域に与えることは決して許されるものではありません。

例えば、福島県での放射能等を巡る風評被害に関して、環境省資料によると風評被害が定着、固定化してしまい、例え全量検査を行ったところで、その回復が難しい現状があります。

傷つけるのは容易でも回復は難しい。その事実を踏まえ、冷静かつ慎重な広報が今、求められます。

改めて風評被害の拡大と固定化を防ぐ取り組みについてお考えをお聞かせください。

○南野議長

生活環境部長

○生活環境部長

風評被害は、根拠の不確かな噂や曖昧な情報をきっかけに生じるものと認識しております。

PFOAに係る健康に関する科学的知見の集積、国際的な評価がなされていない中で、話題だけが先行してしまいますと、風評被害への影響が大きくなることが懸念されます。風評被害の拡大と固定化を防ぐためにも、国、府等から得られた情報を基に、正確な情報を伝えていくことが肝要であると考えております。

例えば、現在、環境省において、令和3年度より環境研究総合推進費を用いて、PFOA等が土壌中にどのように挙動するのか、どのように効率的に除去できるのかという除去技術の開発をテーマに研究が行われております。

その成果をはじめ、今後、国や府の知見等の情報収集をしっかりと行い、先ほど取り組みで述べました市のホームページを活用して、情報発信をしまいたいと考えております。

○南野議長

松本議員。

○松本議員

風評被害を防ぐ取組みについて理解しました。

極めて難しい問題、対策推進と風評被害防止を同時に推進することが重要です。

最後に、PFOA対策について総括的に市長のお考えをお聞かせください。

○南野議長

市長

○森山市長

大気汚染とか、水質等々ですね、環境行政、これの権限というのは、ほとんどと言ってもいいほど国、都道府県、これに委ねられている。そういう意味から言いますと、最先端で窓口を預かっている我々基礎自治体としては、こういった事案が起こる都度と言いますか、靴の上から痒い所にかくという言葉が妥当かは分かりませんが、戸惑いを覚えていることは確かでございます。

このPFOAにつきましては、だいぶ前から国際的にも色々議論がなされてきていることは承知しております。国内でも20年くらい前になるのですかね、発がん性など色々されておったことも承知しております。

摂津市内におきましては、平成17、18年頃か、水質の定点が設けられ、大阪府のほうで色々測定して頂いた経緯があります。以来、定期的に行われております。非常に高い数値が出ているということで、以来、関係事業所、また大阪府、当該市と三者による協議と言いますか、安全策と言いますか、そういった協議を重ねてきたところでございます。

そういう状況にありますけれど、さきほどから話が出ておりますけども、この因果関係と言いますか、はっきりとした原因、これが確定をしていない時点において、基礎自治体、我々が判断をするということはなかなか難しいことございまして、ご指摘のように思わぬ風評被害につながってしまう、特に土壌汚染等々と作物と関係する数値については、何らまだ基準が示されておられません。この段階においては、言及することはできませんが、そういう意味でも、国がこの4月から測定に乗り出して頂いておりますので、早くですね、その結果を出して、安全安心だなど言えるようになれば良いなと思っております。

引き続き環境省のほうにもしっかりと早く測定し、結果を公表して頂くようお願いをしていきたいと思っております。

○南野議長

松本議員。

○松本議員

ありがとうございます。

PFOA問題について、しっかりと市民・地域の為に両方の対策を進めて頂くよう要望致します。

(音声データ等より作成)

重要と思われる部分には強調を入れています。

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<質問項目一覧>

- 1 新体制での児童虐待防止の取り組みについて
- 2 PFOA 問題の対策推進と風評被害防止について**
- 3 新しい小学校の農業体験について
- 4 太陽光発電の留意すべき点について
- 5 ワクチン接種の副反応による健康被害が生じた場合の救済制度について
- 6 就学前教育と小1スタートカリキュラムの連携の重要性について